

令和5年度 大阪府立高槻支援学校 第2回 学校運営協議会記録

令和5年(2023)年10月16日(月)10:00～11:30

於：本校図書室

出席

＜委員＞閑喜美史（会長）、鳥山茂（副会長）、福井勇、重永晃太郎

＜学校＞彌永校長

＜事務局＞吉田事務長、田路教頭、加藤教頭、掛田首席、岡田浩首席、東郷首席

傍聴者 なし

- 1 校長あいさつ
- 2 事務局からの報告事項
  - ① 保護者からの意見について
  - ② 令和5年度学校経営計画の進捗状況について
  - ③ 令和5年度の使用教科書について
  - ④ 学校教育自己診断について
  - ⑤ 高等部3年生の進路希望状況について
- 3 質疑、協議
- 4 校長あいさつ

＊上記のとおり、報告等を行い、各委員から次のような質問及び意見等をいただいた。

（カッコ内は事務局等からの回答）

・保護者からの意見書について

（提出なし）

・地域の高等学校との交流及び共同学習やセンター的機能に係る支援について、どのような状況か？

また、地域自治会の文化祭等への児童生徒作品の展覧についても配慮いただきたい。

（高等部生徒会が地域の高等学校の生徒会と交流したり、地域の高等学校の文化祭へ本校生徒が見に行ったり、作品を展示したりしている。センター的機能にかかる支援に関しては、中学校の障がいのある生徒が高等学校へ進学する人数が増ええてきていることを踏まえ、今後も強化していく予定である。地域自治会文化祭等の連携も続けていく。）

・関係機関との連携に関して、相談支援事業所への相談等について、どのような状況か？

（高槻市から委託を受けた相談事業所の相談員が保護者の相談を受けている。学校での出張相談も企画・実施しているが、保護者が地域の相談事業所へ直接相談する場合も増えてきているようである。）

・SNS連絡網の一層の活用を進めているとのことだが、どのような状況か？

（SNSの利用が保護者へ定着している。電話での対応数も減ってきている。）

・PTAが主体となって、子どもの性に関する学習会を実施するとのことだが、すばらしい取組なので、学校も連携して取組を進めていただきたい。また、PTA活動について、保護者の負担が増えないようにすることも学校が配慮していただきたい。

- ・コロナ禍による自粛等で子どもたちがさまざまな体験をする機会が減った。今後は、地域の教育的資源を活用するなどして体験の機会を増やしていただきたい。
- ・学校教育自己診断の実施に当たっては、保護者への案内を工夫するなどしてわかりやすくなるよう、実施していただきたい。
- ・教科書選定に関して、文部科学省著作検定教科書を活用されていることを評価したい。
- ・進路指導に関して、今年度は就労率が高くなったことを評価したい。

#### 今後の予定

第3回 令和6年（2023）1月24日（水）10:00～ 本校図書室にて